

いじめ

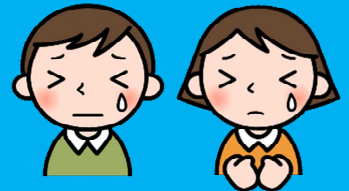
しない！させない！見逃さない！

ダメ！絶対だめ！！

誰もが「いじめる側」「いじめられる側」になる可能性があります。
あなたのお子さんを見つめてみましょう。

いじめは、「誰にでも」「どこでも」起こりえます。

いじめを早期に発見するために、子どもの小さなサインを見逃さず、厳しく温かい心で見守りましょう。



いじめ
とは

友だちなどから、心理的・物理的な影響を受ける行為（インターネットを通じて行われるものも含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいいます。（「いじめ防止対策推進法」より）

いじめ
は

- ・人として絶対に許されない行為です。
- ・人権侵害です。
- ・不登校の原因になったり、自殺を考えるまでに追い込んだりすることもあります。

「いじめられる側にも問題がある」
「昔もいじめはあった」
「時期がくれば、そのうち解決するだろう」

注意！！



・・・という考えは、**絶対禁物**です！

- ・いじめられている子どもの気持ちを最優先に考えることが大切です。
- ・どんな理由があっても、いじめという行為を正当化してはなりません。



いじめられている子どものサインをキャッチ

いじめられている子どもは、家族に心配をかけたくないという思いから、自分から打ち明けない場合もあります。すでに何らかのサインを出していることも考えられます。いじめを早期に発見・対応するために、以下の内容を確認してみてください。

早期発見

「寄り添い」が大事

【いじめられていることがわかったら】

- 子どもが話しやすい雰囲気づくりを心がけましょう。
- 子どもの話を聞いて、気持ちを受け止め、安心感を与えましょう。
- 学校や教育支援センターなど、相談しやすい職員に相談しましょう。

【いじていることがわかったら】

- いじめを行うことになった気持ちや本人の言い分を十分に聞き取りましょう。
- いじめられている人の気持ちを考えさせ、いじめは絶対許されないということを話しましょう。
- 解決するためにどうするか、一緒に考えましょう。
- 直ちに事実を学校に伝え、学校と連携を図りながら子どもを支えましょう。

未然防止

家庭において努めたいこと

子どもと過ごす時間をつくる

食事の時間を合わせたり、就寝前の時間を利用したりして、学校の話や友達、将来について話す時間をつくりましょう。

子どもの様子にアンテナを張る

子どもが今、何に興味をもっているのか、どんな勉強の仕方をしているのか、読んでいる本やノートを見る機会をもちましょう。

大人同士の関係をつくる

学校行事や地域の行事などに積極的に参加して保護者同士の関わりを少しでも多く持ち、気軽に情報交換できる関係をつくらせておきましょう。

「SOSは出していいこと」を伝える

自分がつらい気持ちになった時は、一人で抱え込まず、信頼できる大人や友だちにSOSを出していいことを伝えてください。

早期対応

小さな変化を見逃さない

いじめられている子は、徹底して守りましょう。いじている子には、早くその行為をやめさせましょう。

【日常】

- 表情が暗くなり、ぼんやりしている。
- ぼんやりしたり、ふさぎこんでいる。
- 落ち着きがなくなり、おどおどしている。

【友だちは？】

- 友だちと遊ばなくなった。
- 不自然な外出が増えた。
- 「転校したい」というようになった。

【言動は？】

- 朝になると体調不良を訴え、登校を渋るようになった。
- 意味なく夜更かしし、極端に寝起きが悪くなった。
- 死や非現実的な事に関するインターネット等の情報に関心をもつようになった。
- 些細な事で怒ったり、八つ当たりするようになった。
- 「どうせ自分はダメだ」等、自己否定的な言葉を口に出すようになった。

【服装・持ち物は？】

- 帰宅した時、衣服の汚れや破れがある。
- 教科書やノートに落書きが多くなった。
- 持ち物が頻繁になくなったり、壊されたりするようになった。
- 家から金品を持ち出すようになった。

【いじめの加害者になっていませんか？】

- 「うざい」「きもい」などの言葉が増え、言葉遣いが荒くなった。
- 買い与えていないものを持っている。
- 与えた以上のお金を持っている。
- 頻繁に電話をかけたり、メールを送信したりして、その後に外出するようになった。

1つでも当てはまる場合は、子どもに声をかけよう。

《相談機関》

- 和光市教育支援センター : ☎048-466-8341
- よい子の電話教育相談(子ども用) : ☎0120-86-3192
- (保護者用) : ☎048-556-0874